

犬を飼うとどうして

飼い主としての責任を果たしましょう

環境防災課 ☎ 84-0314

動物を飼うということは、その命を預かるとともに、社会や隣近所に迷惑をかけないようにする飼い主としてのマナーが必要になります。

特に身近なペットでもある犬を飼うには、犬の登録や狂犬病予防注射の接種をしなければならぬなどの飼い主としての責任と義務が生じます。

今、犬を飼っている方も、これから飼おうとしている方も、犬を責任を持って飼育することをもう一度考えてみましょう。

犬を飼ったら、まず登録しましょう！

生後91日以上の犬は登録が必要です。飼い犬を登録する目的は、犬の所有者を明確にすることです。どこに犬が飼育されているかを把握することができ、狂犬病が発生した場合に、迅速かつ的確に対応することが出来ます。

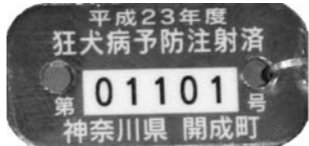
犬を飼い始めたら、環境防災課で手続きを行い、「犬の鑑札」と「愛犬手帳」の交付を受けてください。

飼い犬には狂犬病予防注射を受けさせましょう

生後91日以上の犬は、年1回（4月から6月の間に）狂犬病予防注射を受ける義務があります。4月に町では町内各所において狂犬病予防集合注射を実施します。最寄りの会場にお越しください。（詳しくはおしらせ版をご覧ください。）なお、集合注射の追加は行いませんので、当日都合のつかない方や、集合注射で注射を受けさせない方は、個別に動物病院で注射を受けさせてください。

狂犬病は、感染し発症すると治療ができません。飼い主自身や、家族、近所の方や他の動物への感染を防ぐためにも注射を受けさせましょう。

▼注射を受けた犬の飼い主には注射済票と鑑札を交付します。



登録内容に変更があった場合、届出が必要ですよ。

犬も人間の住民登録と同じように、台帳に登録して管理しています。犬の所在地や飼い主などに変更が生じた場合、届出が必要になります。

また、開成町から転出した場合、引越し先で犬の登録の届出が必要になりますので手続きをお願いします。

犬が死んでしまった場合も、登録を抹消する必要がありますので、環境防災課まで連絡をお願いします。

犬がいなくなってしまうたら...

町環境防災課のほか、神奈川県動物保護センター（☎0463-58-3411）足柄上保健福祉事務所（☎83-5111）に連絡してください。



◀犬の鑑札 必ず首輪につけてください。迷子になったときに、飼い主の特定にも役に立ちます。

あなたは本当に飼う前に考えましょう

犬が飼えますか

ペットショップで、かわいい子犬を見かけると、愛着がわき飼いたくなるものです。でも、生き物である以上、かわいだけでは飼えません。ほんとうに飼えるかちよつと待って考えてみましょう。

私たちが健康的な日常生活を送るためには、食べものや水だけでなく、快適な住居や友人とのコミュニケーションや娯楽などが必要ないように、犬にも必要なものがあります。犬のニーズを満たしながら人間社会で暮らしていくために必要なしつけをするなど適切な管理をし、自分のライフスタイルや犬と過ごす時間や経済的なことも考えて、「飼いたい」よりも「飼える」犬を選びましょう。

チェック!! あなたは犬を飼う(飼える)のに適していますか?

次のチェック項目を確認してみましょう。



- これから数年間、毎日世話ができますか? □ 犬が暮らせる生活空間のある住宅ですか?
- あなたが散歩のできる大きさの犬ですか? □ 引越して飼えなくなるということはありませんか?
- 快適な犬の寝場所を用意できますか? □ 繁殖を望まない場合は、不妊・去勢手術ができますか?
- 健康に気を配ってやれますか? □ 犬が病気にかかったり、けがをしたりしたときに、病院につれていけますか?
- ブラッシングやシャンプーなどいつも清潔にできますか? □ 犬の注射や病院にかかったときの治療費は用意できますか?
- 犬から人にうつる病気のことを知っていますか? □ 犬の立場になって考えることができますか?
- 犬の本能や習性を理解していますか? □ 寿命がくるまで面倒をみることができますか?

これらのことができるか考えた上で、犬を飼うかどうか決めましょう。

犬も歳をとります

犬の大きさや飼育環境にもよりますが、15、16歳で人間の年齢に換算すると、75歳、80歳です。犬も歳をとると視力、聴力、嗅覚などの感覚が衰え、動きが鈍くなり、寝ている時間が長くなります。また、目が白く濁る、筋肉が衰えて足腰が弱くなるなどの症状も現れます。消化機能も衰えてきますから、えさの量や硬さを徐々に変えていくなど気を配るようにしましょう。また、体力に合った散歩や運動をさせるようにしましょう。

長年家族同様に暮らし、心を癒してくれたかけがいのない犬です。最後まで愛情を持って面倒をみてあげるのが、飼い主としての責任でもあるのではないのでしょうか。

散歩するときは、フンを入れるための新聞紙や袋を用意して持ち帰ってきてね。



ぼくたちが苦手な人もいるんだ。「うちの子だけは大丈夫」なんて思わないで、放し飼いはしないでね。